

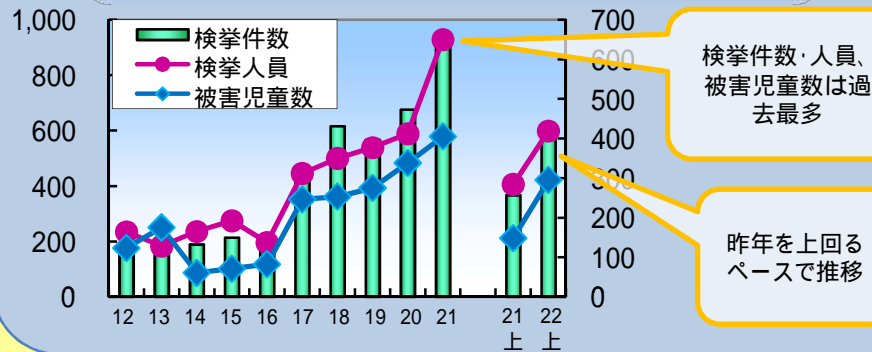
1 治安水準の更なる向上のための総合対策の推進

(1)犯罪が起きにくい社会づくりの推進

児童ポルノ対策・少年非行防止対策の推進 要望額：27百万円

児童ポルノ対策の推進

児童ポルノ事犯の検挙・被害児童保護状況



今後の児童ポルノ対策

児童ポルノ排除総合対策(平成22年7月27日犯罪対策閣僚会議決定)

今後3年間を目途に、関係省庁が事業者、関係団体等と連携して推進

児童ポルノの排除に向けた国民意識の醸成

被害児童の支援

児童ポルノ事件の取締りの強化



警察庁における児童ポルノ画像分析

少年非行防止対策の推進

少年非行の現状

- ・21年の触法少年の補導人員や万引き、ひったくり等の犯罪が増加
- ・社会の耳目を集める重大な少年事件が続発

背景

- 少年のコミュニケーション能力の不足
- 家庭、地域社会の教育機能の低下
- 少年が孤立化している状態
- 社会全体の規範意識の低下

非行少年を生まない社会づくり

子ども・若者ビジョン(平成22年7月23日子ども・若者育成支援推進本部決定)

➢ 非行・犯罪に陥った子ども・若者の支援 ➢ 困難を有する子ども・若者の居場所づくり

少年や家庭のSOSを待つのではなく、積極的に手を差し伸べる支援
地域住民や関係機関の協力を得て、対象少年と社会とのつながりを構築

- ・問題を抱える少年の社会奉仕活動、参加型社会体験活動等を地域住民等と協働して推進
- ・少年サポートセンターを中心とした非行防止教室・情報発信等の活動の強化



社会奉仕活動